

物質の計測・物質の分離・環境モニタリング

キーワード[物質の計測, 物質の分離, 環境モニタリング]

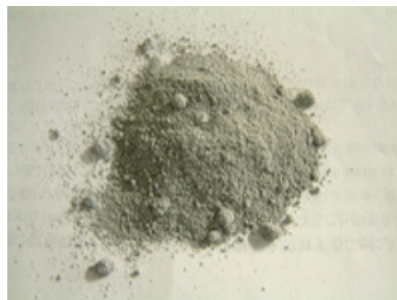
准教授 遠藤 昌敏



水中の有機物をモニターする装置の開発



色を見分けて物質を測る方法の開発



廃棄物由来化合物から機能性捕集剤へ



環境の計測から環境改善提案まで

内容:

私たちの身の回りや工場の生産現場等で、ある対象(環境, 飲食物, 生体, 材料など)の中に必要なもの(or 不要なもの)がどれだけ含まれているか「はかる」ことはとても重要です。

研究室では、はかり方(分析方法)と分析装置に関して、物質と物質あるいは物質とエネルギーの相互作用, 感度、選択性、簡便性、迅速性、コスト、環境負荷、連続モニタリングなどの点を念頭に置いて、研究および開発を行っています。

また、物質の分離技術について基礎的な反応から応用研究へと展開し、有害物質の除去, 有用物質の回収, 各種分離分析法の設計・開発なども行っています。

得られた成果は、環境計測や現場分析に適用し、その有用性についても評価しています。

最近のトピックスとしては、エンジンオイルの劣化判定試験紙の開発に成功しています。また、廃水中の低濃度フッ素の除去法も実用化に至っています。

分野: 物質化学工学
専門: 分析化学・分離化学・環境計測化学

E-mail : endomasa@yz.yamagata-u.ac.jp

Tel & Fax : 0238-26-3142

